

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
<p>「人間関係の育成・学力の向上を目指す学校」「生命・安全、規範意識等を大切にする学校」「使命感をもつ教員がいる学校」「地域社会のネットワークを生かす学校」を指針とする、桜岡小チーム力を伸ばします。</p> <p>○子供一人一人が共に生きることを喜び、かしこく、たくましく生きることができるよう、人間関係をはぐくみながら、思考力・判断力・表現力をはぐくみ、基礎学力をしっかりと身に付けさせるようにします。</p> <p>○子供一人一人に、善いもの・美しいもの・尊いものに憧れる豊かな情操と、規範意識をはぐくみ、自分の生き方を見つめる力を育てます。</p> <p>○教職員のチーム力を向上させ、学校運営協議会・PTA・桜岡学援隊との円滑な連携を組み、地域に根ざした安心・安全な学校づくりを推進します。</p>	

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野		取組目標	具体的取組
豊かな心		思いやりをもち、互いに尊重し合いながらのびのびと自己表現や自己実現ができる子を育てる。	①道徳の時間の指導を中心に、子どもがよりよく生きようとする道徳実践力を身に付ける。全学級の道徳授業公開を年1回以上行う。 指針1 ②豊かな体験活動に取り組み「なかよし活動」の充実を図る。 指針2 ③人権尊重を基盤とする学級づくりを行うため、人権週間で人権の視点を意識した授業づくりや各クラス標語作りに取り組む。 指針3
担当	人権 福祉教育委員会		

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

平成27年度の横浜市学力・学習調査の結果を見ると、規範意識では、「自分にはよいところがありますか」や「人の気持ちを考えて行動するようにしていますか」の項目は市平均と同等であった。しかし、学年が上がるにつれ低くなる傾向が見られ、さらに自尊感情や自己肯定感を高めていくことが課題である。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

指針1 「道徳の時間」の充実

- ・全学級の「道徳の時間」の授業を家庭・地域に公開し、公開後の学級懇談会やアンケート等を参考に「道徳の時間」の指導に生かす。【視点1】
- ・学校の生活目標と各学級の道徳の時間との関連を図り、豊かな体験を生かして指導を行う【視点1】

指針2 豊かな体験活動の充実

- ・体験を通して、他者との関わりや自己を見つめ、集団や社会の一員であることを実感しながら自尊感情を高めるよう、多様な体験活動を推進する。【視点3・4】
 - ・「児童会活動」「クラブ活動」「なかよし活動」などの「異学年交流」を、より自主的、意欲的に行うことができるようにする。【視点3】
- ☆「豊かな心の育成」推進プログラム副読本を活用し、体験や講話などを通して自分の役割や働くことの意義について基盤を形成する。【視点4】

指針3 確かな人権感覚・意識の育成

- ・人権尊重の精神を基盤とする学校づくりを行うために、授業をはじめとした「学習活動づくり」や「人間関係づくり」を推進する。【視点6】